

■V70 ClassA A級プッシュプル動作 プリメインアンプ



「シングルエンドアンプのような妖艶な中域の再現性を備えたA級回路コンセプト」

今回 OCTAVE が目指した「クラス A コンセプト」とは、「魅惑的な音質の優位性を活かしかれる製品」であり、出力は限定されるものの歪みが少ない A 級動作のメリットを最大限に発揮させること。OCTAVE はこのコンセプトとプッシュプル動作を組み合わせ、魅惑的なサウンドクオリティを備えた新しい製品を作り出すことに取り組みました。

そして、それを実現するための様々なトライアルを経た結果、ついに「V70 ClassA」すなわち五極管回路の A 級プッシュプル出力段を持つインテグレートッドアンプが誕生したのです。

ダイナミック・バイアス・コントロール

- ・A 級コンセプトの出力に関して要求に応じてダイナミックレンジをシフトさせる回路技術。
- ・最大で50W 出力を持つセルフバイアス方式のクラス A アンプを実現。
(オプションのスーパー・ブラックボックス使用時は最大70W)
- ・この独自技術によって、クラス A 特有の純度の高いサウンド・テクスチャと、プッシュプル技術によるダイナミクスとパフォーマンスの両方を獲得。また、最大出力領域までの周波数特性全体にわたって A 級パワーアンプの長所をギャランティーすることが可能に。

◇「V70 ClassA」はオートバイアス回路を搭載。これまでのように使用する真空管に応じた調整の必要はありません。

(BIAS モードで4本の出力管が正常に動作しているかどうかを LED の色によってチェックが可能)

◇アナログプレーヤーを接続するため、後で取り付け可能なフォノボード(MC または MM のいずれかを選択)をオプションで用意。(Phono モデルの場合には注文時に MC、MM のどちらかを選択別途取り付け費用: ¥ 15,000/税別がかかります)

◇Power Selector スイッチにより出力の High (50W)/Low (25W) 切替が可能。

- ・Power High 設定時ではクラス A の動作は高出力になるため、KT120 または KT150 のみ使用可能
- ・KT88 または 6550 は Power Low を選択してください

◇オクターブの代表的な機能であるソフトスタート機構と保護回路システム、ECO モード搭載

◇ホームシアター用バイパス回路、便利なレギュレートされたプリアンプ出力(サブウーファーを直接接続する場合)などの機能もこれまで通り採用。

◇色はシルバー、ブラックの2色(グリル付き)

入出力端子	
入力	6 x RCA (ユニティゲイン入力含む。またひとつの入力はオプションで MM または MC 入力に変更可能=どちらか選択) 1 x XLR
出力	1 x 可変出力(RCA), 1 x テープ用固定出力 (RCA) 1 x スピーカー出力
XLR ピンアサイン	1 = ground, 2 = positive, 3 = negative
パワーアンプ部	
出力(4Ω 時)	Power Selector High 2 x 50W Power Selector Low 2 x 25W
周波数帯域	20 Hz - 70 kHz
高調波歪率	0.1% (10W/4Ω)
S/N 比	100 dB
推奨負荷インピーダンス	4-16 Ω
増幅度	35 dB
プリアンプ部	
入力感度	300 mV RCA and XLR
入力インピーダンス	50 kΩ RCA; 25 kΩ XLR
チャンネルセパレーション	55 dB
クロストーク(入力端子間)	- 105 dB
全般	
消費電力	20 W (エコモード時), 190 W(アイドル時), 500 W(最大出力時)
重量	23 kg
ヒューズ定格	100V: 6.3 A slow-blow H (5 x 20mm)
寸法 (外寸)	Overall dimensions in mm 451 X 175 x 405 mm (W x H x D)

■HP700SE

真空管プリアンプ



2014年の発売開始から6年に渡りOctaveの中核を担ってきたプリアンプ「HP700」がこのほどマイナーチェンジを受け「HP700SE」として登場いたします。

HP700SEの基本回路の起源は1986年に最初に発表されたHP500に由来。このコンセプトは30年以上一貫して開発されつつ進化しております。

HP700と同様に内部に2つのモジュールを追加可能。フォノレベル5種類(※)、ラインレベルで3種類がされ、ユーザー個々のセットアップに対する要求に応える自由度を持ちます。

新しいSEバージョンでは、背面パネルの2つのRCA出力の隣にさらに2つの平行XLRソケットを装備。RCA、XLRどちらの接続タイプのバイアンプも可能です。

これに伴い出力段も調整。特にプリアンプのミッドトーンの色調の改善を担っています。

チューブ構成はHP700と同様。

※フォノ用のモジュールを使用するには別途HP700SE用RIAA回路(¥200,000/税別)が必要です

輸入総代理店:フューレンコーディネート
TOLL FREE 0120-004884
www.fuhlen.jp/octave